



放射線ファーマシスト委員会
活動報告 2020

For The Future of Fukushima

一般社団法人福島県薬剤師会

はじめに



2011年3月11日の東日本大震災の地震により、東京電力福島第一原子力発電所では、外部からの送電が受けられなくなり、さらにその後の大津波の襲来で電源が失われ、原子炉内部の冷却機能が喪失しました。高温になった原子炉内の機材と炉内の水蒸気の化学反応で発生した水素が建屋内に蓄積して『水素爆発』が起こり、1・3・4号機の原子炉建屋が大きく破損しました。また、格納容器のベントが適確に行われず、大気中に多量の放射性物質が放出される事態になりました。

この事故により、原子力発電所周辺住民の多くが県外に避難したり、県内に留まるも放射線の影響や健康・生活に不安を抱えながらの生活を余儀なくされました。

廃炉までの40年。福島県民はこの間、否応なしにこの原発事故につき合い、向かい合っていかなければなりません。

県民1人1人が「放射線を正しく知って、自ら考え、判断できる力をつける」ことが肝要であると考え、薬剤師の持つ学術特性と資質を生かし、県民に正しい情報と知識を伝えていくことが福島県に住む薬剤師の責務と感じ「放射線ファーマシスト養成事業」を2013年にスタートさせました。

この事業では、

- 1 県民に放射線の正しい情報を伝え、相談にも応えること。
- 2 そのために大学で学んできたことや職能を生かし、放射線に関する正しい知識を持つ薬剤師（放射線ファーマシスト）を養成すること。
- 3 原子力災害時の緊急被ばく医療活動において薬剤師としての役割を担うこと。

具体的には、

- 1 福島県内の状況の把握
空間線量の推移、安定ヨウ素剤の配布・配備、避難地域の現状、廃炉の現況、県民健康調査の状況、風評被害など
- 2 相談事例の収集
- 3 養成研修のテキスト作成
- 4 研修会の開催
- 5 県が実施する原子力防災訓練への参画等



これからも福島県民に寄り添い、県民の健康に寄与し、福島復興に貢献していくために、薬局や学校等において「放射線の正しい知識の啓発」や「相談活動」を実施していきたいと思っております。

沿 革

沿革

2013年3月	福島県薬剤師会に「放射線ファーマシスト委員会」設立 放射線医学総合研究所 石原弘博士に指導依頼
2014年10月	放射線ファーマシスト養成講習開始
2015年4月	相談受付事業開始
2016年12月～	福島県学校薬剤師会との共催研修会開始
2017年10月～	東京電力福島第一原子力発電所視察
2017年11月～	福島県原子力防災訓練参画
2018年6月	福島県教育庁放射線・防災フォーラム参画
2019年11月	商標登録取得「放射線ファーマシスト®」

講演等の活動実績

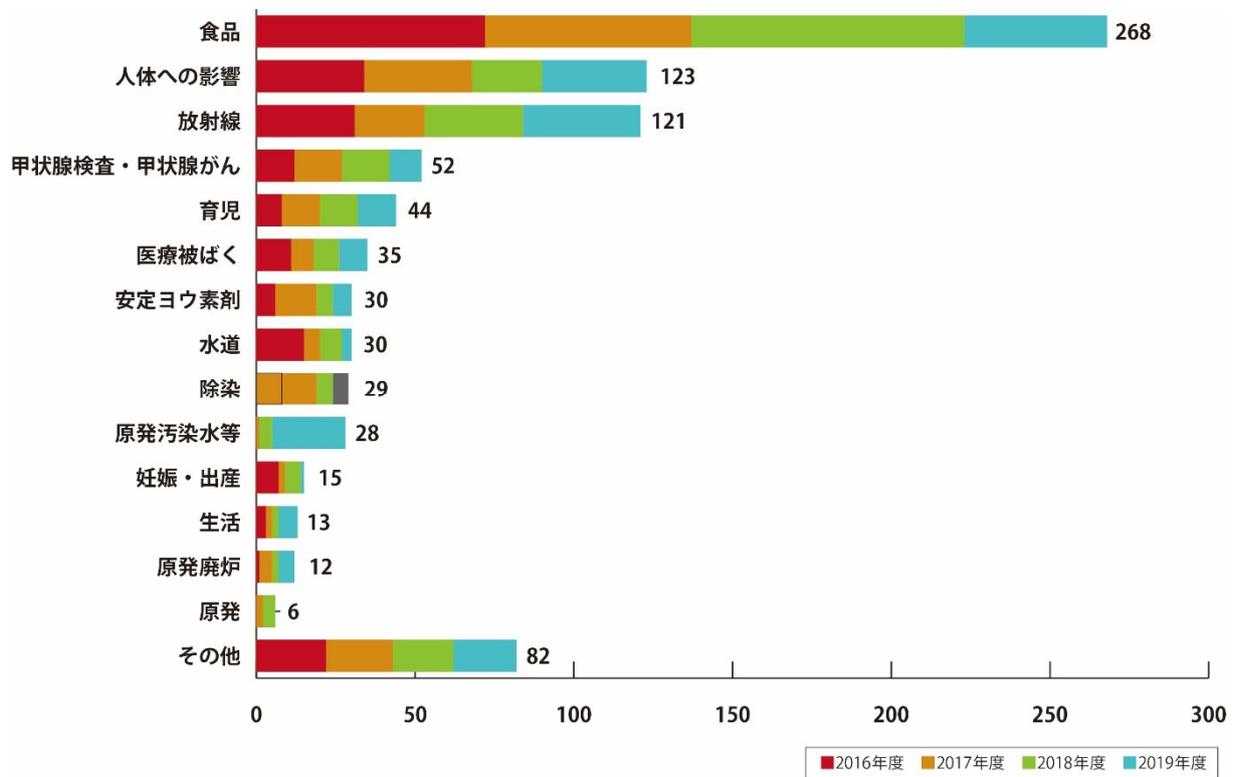
- フランス使節団視察受け入れ
- 岩手県薬剤師会
- 日本薬剤師会試験検査センター技術研修会
- 日本薬剤師会学術大会（口頭、ポスター発表）
- 北海道・東北六県薬事情報センター連絡協議会
- 日本女性薬剤師会移動セミナー
- 東北学校薬剤師連合会連絡協議会
- 東北薬剤師連合会
- 鹿児島県薬剤師会

放射線に関する相談受付事業



2016年から薬局等の窓口で、県民の皆さんが薬局等の窓口で県民からの不安や疑問に思っている放射線に関する相談にお応えしています。

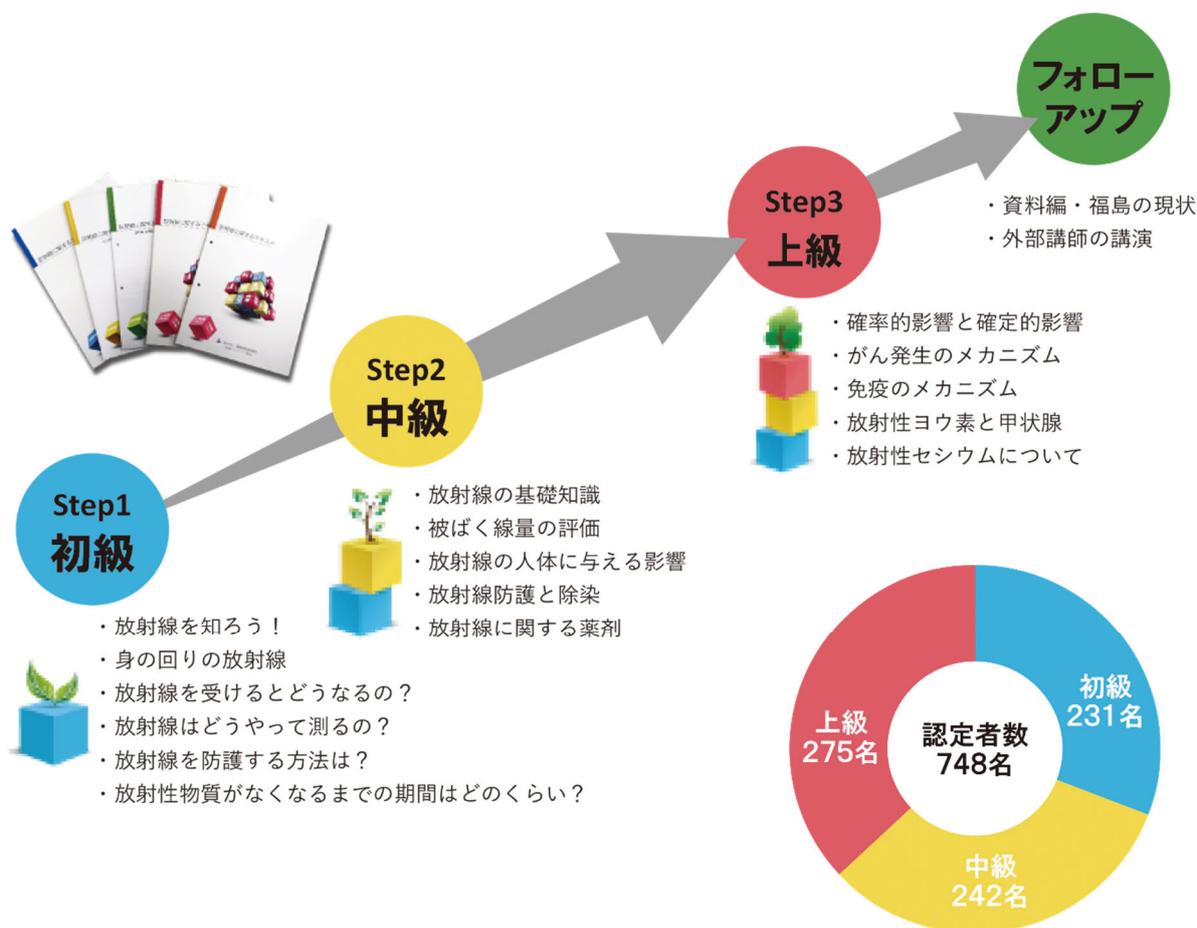
毎年、200件近くの相談が寄せられており、2020年3月31日現在までの相談実績は、888件になります。特に、毎日口にする食品に関する相談を多くいただいています。



放射線ファーマシスト[®]養成事業

福島県薬剤師会が作成したテキスト（初級編、中級編、上級編（各論、Q & A）、資料編）を用いて、初級⇒中級⇒上級とステップアップしながら放射線ファーマシストの養成講習を行っています（各級とも年1回の開催）。

また、上級放射線ファーマシストは3年毎の更新制で、3年に1度以上フォローアップ研修を受講することになっており、常に新しい情報・知識を習得し、県民の皆さんからの相談にお答えしています。



(2020年12月13日現在)



放射線ファーマシストガイド



一般向け

2011年3月の東電電力福島第一原子力発電所の事故以来、決して放射線の影響を軽視できないと認識し、放射線に関する正しい知識・情報を伝えていくために、放射線の知識を有する薬剤師「放射線ファーマシスト」を養成する取組を2013年にスタートしました。

国民からの信頼に応えるため、産業界・学術界・市民・行政・学校と連携し、放射線に関する取組を進めています。薬学や学校等において、「放射線の正しい知識の普及」を推進する取組を行っています。

◆認定資格

上級 約700名
中級
初級

放射線のことご存知ですか?

放射線に関する相談受付事業
薬剤師の専門である放射線に関する市民や学校にたいしての相談受付を行っています。

放射線ファーマシスト養成事業
産業界・学術界・市民・行政・学校と連携し、放射線に関する取組を進めています。

放射線ファーマシストの養成

・放射線に関する基礎知識の習得
・放射線に関する応用知識の習得
・放射線に関する実践知識の習得
・放射線に関するコミュニケーション能力の習得

正しい知識を伝えます

・放射線に関する正しい知識の普及
・放射線に関する正しい知識の普及
・放射線に関する正しい知識の普及

放射線ファーマシストガイド

・放射線に関する正しい知識の普及
・放射線に関する正しい知識の普及
・放射線に関する正しい知識の普及



学校・教育委員会向け

2011年3月の東電電力福島第一原子力発電所の事故以来、決して放射線の影響を軽視できないと認識し、放射線に関する正しい知識・情報を伝えていくために、放射線の知識を有する薬剤師「放射線ファーマシスト」を養成する取組を2013年にスタートしました。

国民からの信頼に応えるため、産業界・学術界・市民・行政・学校と連携し、放射線に関する取組を進めています。薬学や学校等において、「放射線の正しい知識の普及」を推進する取組を行っています。

学校薬剤師が行う放射線教育
＜放射線教育講習テーマと内容＞

- 1 放射線（放射線）は怖いものか？
放射線とは何か、放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来
- 2 放射線はなぜ怖いのか？
放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来
- 3 放射線はなぜ怖いのか？
放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来
- 4 放射線はなぜ怖いのか？
放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来
- 5 食への放射線の影響は？
放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来
- 6 放射線はなぜ怖いのか？
放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来
- 7 放射線はなぜ怖いのか？
放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来
- 8 放射線はなぜ怖いのか？
放射線の種類、放射線の発生、放射線の測定、放射線の影響、放射線の防護、放射線の利用、放射線の未来

